

R5年度 ル・ソラリオン綾瀬 事業計画書

1. 施設理念

- ・ご利用者の尊厳を守り、安全に配慮しその有する能力に応じ自立した日常生活の支援をします。
- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して快適な日常生活が営めるよう「生活の質」「介護の質」を基本とし、地域で信頼される介護サービスを提供します。

2. 施設方針・テーマ

テーマ 「笑顔」 ～相手を思う心優しい介護～

- ・人として尊厳を守る介護
- ・笑顔で安心出来る介護サービス提供
- ・専門性を活かした認知症高齢者ケアの提供
- ・地域福祉の拠点施設としての活動

3. 実施事業

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| (1) 介護老人福祉施設 | 定員160名 (ユニット型個室120名)
(従来型多床室 40名) |
| (2) ショートステイ | 定員24名 (ユニット型個室) |
| (3) デイサービス | 定員24名/日 |
| (4) 居宅介護支援事業 | |

4. 重点目標

- ・一人ひとりに寄り添い尊敬の意を大切にし、その人らしい豊かな人生が送れることを目指します。
- ・世の中の流れに即し職場環境を改善しながら介護・支援を通し人として成長し、やりがいと喜びをもって働ける職場を目指します。
- ・「地域において求められる施設」とは何かを考え、社会資源の活用や地域貢献に努め地域の方に親しまれ愛される施設運営を目指します。

(1) 人材育成と職場定着

①働きやすい職場環境づくり

- ・働きがいのある職場を目指し職場環境改善に取り組む。
(法人配置基準を満たす人員を確保し、職員の負担を防ぐ)
- ・何でも言い合えある風通しの良い職場づくり
(全員参加の組織づくりとあいさつの徹底)
- ・変化を恐れないチャレンジ精神

②職員の育成とスキルの向上

- ・リーダーの育成とケアの質の統一を図る
- ・必要な研修の検討・参加しやすい研修の企画、e ランニングの有効活用を行い、職員の参加率を上げることにより、知識・技能の向上を図る。

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

①利用者の生活を豊かにする取り組み

- ・ 認知症のご利用者の視点に立ち、より良いケアの検討・提供をする
- ・ 食事の楽しみを提供する
- ・ ご利用者の安全な生活を確保する基本の安全な介護を行うことで、レベル3以上、特に介護中の事故を増やさない
- ・ 感染対策の中でもレクリエーションの実施、活動の場の提供を行う
- ・ 新しい医療機関と連携することで、状態変化の早期発・見早期対応をし健康状態を保つ

② 業務を見直すことでご利用者への関わりを増やす

- ・ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
ワイズマン等記録の見直しと活用（ペーパーレス化の推進と業務の効率化）
新しい視点で業務の見直しを検討、実行する
（積極的なデモ機の導入・操作性の良いシステム環境の構築）
安定した通信環境を整えネットワークの再構築

③施設サービスの質を上げる

- ・ 多職種が共働して加算取得を継続する
- ・ 新たなる加算取得の検討を実施
- ・ 利用者・家族視点に立ったサービス方法、マナーの実施

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

① 感染予防と感染対策の徹底

- ・ 新型コロナウイルス感染発生に伴う運営方針、職員行動基準を遵守し感染対策の徹底をはかる。
- ・ ゾーニング基準表に従い、決められた手順に基づく感染対策を行う。

② 介護事故の分析・予防・再発防止策の徹底

- ・ 大きな事故が発生した場合には緊急事故防止委員会を開催、現場検証・原因究明をし、早めの再発防止策の決定・施設内の周知に努める。
- ・ 事故ヒヤリハット報告書を充実させ、分析・予防・再発防止に取り組む
- ・ ご利用者・ご家族からのご意見を積極的に受けケアに活かす。

③ 災害時の対応をスムーズに行うことができるような体制づくり

- ・ 日中夜間想定避難訓練実施（年2回）及び図上訓練を行う。
- ・ 水害を想定した避難計画の作成と訓練を実施する。

- ・防災備品の設置及び周知し、災害時に備える。
- ・相互協定に基づき、避難訓練時に地区住民の方に参加していただく。

④ 労災を減らす取り組み

- ・事故を共有し、分析した上で対応策を検討し再発防止に努める。

(4) 施設・設備整備

① 設備・備品の点検と管理、修繕の迅速な対応

- ・開設8年が経過、設備や備品の不具合の早期発見、早期改修を実施
- ・重要な設備に対して保守契約も検討する。
- ・災害発生時の事業継続に必要な整備
- ・水道光熱費等の削減について検討する。

② ICT導入の研究・検討

- ・介護従事者の業務改善や負担軽減につながる、介護ロボット等の導入を引き続き検討する。

(5) 地域連携・社会貢献

① 「あやせ日和」・ホームページを利用した情報発信を行う

- ・毎月発行の広報誌の中身を充実させ発信、ホームページを活用し、行事や出来事を情報発信していく。
- ・家族会を開催し施設運営の理解と協力を求める

② With コロナにおける地域連携・地域貢献を検討

- ・コロナ禍でも安全に繋がれる地域貢献活動を検討
- ・実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・ボランティアの受け入れを積極的に行い、ご利用者の生活（ケア、余暇活動）に活かす。
- ・地域自治会での介護教室の計画と開催

(6) 経営管理

① 安定的な事業経営

- ・各事業における目標稼働率の達成を目指し、月末状況の分析、改善計画を立てる。
(特養 95.0%、ショート 65.0%、デイ 65.0%、居宅64件)

② 魅力ある施設・魅力ある事業所を目指す

- ・特養：待機者名簿の再確認と先手を打った空床管理
- ・ショート・デイ：多様な利用者に対応できるためのケアの質向上
- ・自分たちの強みを理解し営業活動を進めていく。

③ 加算取得の分析

- ・目標達成に向けた改善計画、加算要件の確認を行い取れる加算がないかの検討

5. 新規事業
なし

6. その他